



「電車線モニタリングの導入エリア拡大について」の提案を受けました！

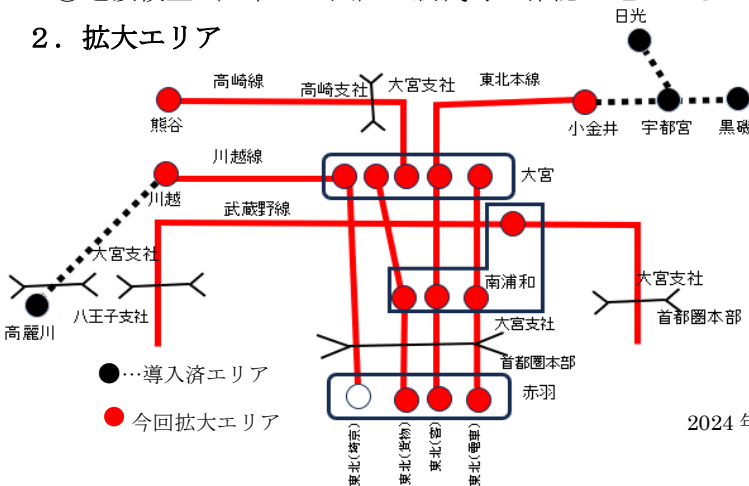
1月25日、大宮支社より「電車線モニタリングの導入エリア拡大について」の提案を受けました。

1. 実施内容

- (1) 電車線モニタリングの導入エリア拡大並びに拡大エリアにおける検査体系の見直し及び業務の効率化
- (2) 検査体系の見直し
 - ① 設備の画像データをモニタリング装置で取得
 - ② 金具モニタリングの画像によるパンタグラフ周り設備の変状の確認
 - ③ 金具モニタリングの画像によるトロリ線の摩耗の確認
 - ④ 近接検査（3年に1回）で腐食等の確認＋地上からの検査（年1回）



2. 拡大エリア



通称線名	始点	終点
東北(貨物)	田端操	大宮
東北(客/高架)	東京	大宮
東北本線	大宮	小金井
東北(埼京)	赤羽・北赤羽	大宮
東北(電車)	東京	大宮
武蔵野線	府中本町	西船橋(武蔵野)
高崎線	大宮	熊谷
川越線	大宮	川越

2024年4月から拡大する線区・区間（検測車が走行しない区間を除く）

3. 実施日

2024年4月1日

4. その他

実施に向けて教育訓練等の必要な準備を行っていく。

■箇所体制について

		現行			改正			増減
		変形等	交代	計	変形等	交代	計	
大宮電力設備 技術センター	管理	15		15	15		15	±0
	一般	70		70	68		68	▲2

～提案時の議論要旨～

モニタリング装置のメリット

- ・至近距離検査のための高所作業が削減され、従事する社員の安全性が向上する。
- ・モニタリングにより人間系で目視するものと同様の確認ができるため、検査にかかる労力軽減。

導入時期について

- ・試行を重ねてきて、十分な知見が得られたことと「変革2027」のより一層の推進を進めるため。

要員効果について

- ・至近距離検査を主に実施している箇所に変更が生じる。
- ・モニタリングデータ解析を通じ、判定・判断業務に集中でき更なる設備管理のレベルアップに繋がる

安全性向上と設備管理に集中できる体制をつくりあげよう！